

吉澤章 創作折り紙

講師 国際折り紙研究会

吉澤 菊川 喜代 多美子

折り紙は近年世界の人々に魅力ある造形となりました。現代折り紙の創始者として、吉澤折り紙はその作品の芸術性や技法が評価されています。この講座では吉澤折り紙を承継ぎ、作品の持つ美しさやあたたかさに触れたいと思います。

素材として紙の持つ特性を生かし、幾何学的な折り線構造から自由な折り線による情緒的な構成まで、創作折り紙は幅広い造形です。折り紙を通して造形の基礎理論をわかりやすく講義しながら、和紙や種々の洋紙等を用いて作品に仕上げます。

折り紙は作るプロセスに独得の面白さがあり、制作した作品はインテリアとして鑑賞できます。(講師・記)

○見学ができます。予めご連絡下さい。

※ 進度に応じて指導します。カリキュラムは変更することがあります。

期 間 新規募集は4月、10月の
6ヶ月ごとです

第2・4木曜日 18:00~20:00
受講料(税込) 6ヵ月(12回) 34,020円

※初めてのの方は入会金5,250円が必要です。

※期によって回数や受講料が変わることがあります。

※お申込みの際に窓口でお確かめ下さい。

教 材 教材セット 5,800円位 ※初日に4階教材コーナーにて販売。
各 自 用 意 カッター、筆記用具
場 所 新宿住友ビル4階

●講師の病気や、受講者が一定に達しない場合などには、やむを得ず講座を延期または中止することがあります。

●お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。



〈講座のスケジュール〉

2006年10月~2007年3月

- 創作折り紙と現代の折り紙について
- 秋の草木・鳥・菊の花、せきれい
- 人の姿=ポーズ・動作の表現
- 生活の中の折り紙
クリスマスカード、クリスマスの折り紙を応用する
新年を迎える折り紙
- 折り初め 機能性を組み入れた折り線構造による折り紙 コマなど
- 冬の風物を折る
- 日本の伝統の形を折る
仮面=鬼 おひなさま
- 動物 特徴のある姿の表現における用紙の原型と基礎折りから
きりん



朝日新聞の文化活動 朝日カルチャーセンター
〒163-0204 新宿住友ビル内 私書箱22号
東京都新宿区西新宿2-6-1 Tel 03-3344-1947(直)
<http://www.acc-web.co.jp>

公開講座

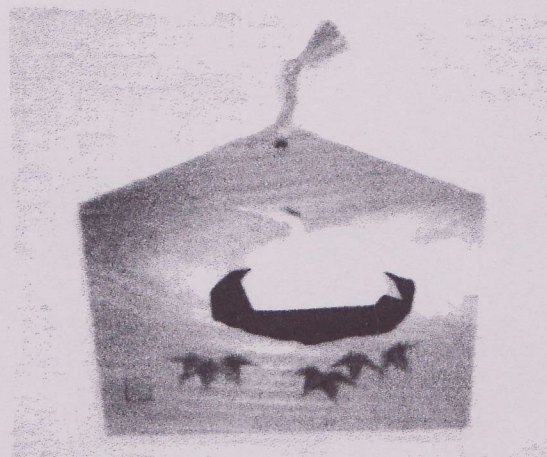
吉澤章の 新年の折り紙

講師 国際折り紙研究会 吉澤 喜代
同会 菊川多美子

年の初めを祝う行事を形で表すとき、紙がよく使われます。白い和紙を基調に折り紙で巣ごもりの鶴を作って飾りましょう。

『たくさんの雛をかかえている巣ごもりの鶴は新年にふさわしい折り方』と作者は書いています。象徴的な折鶴の形に対し、シンプルな折り線にやわらかい曲線や局面によって美しい姿に仕上げることができます。

十二支の絵馬シリーズの他に、吉澤作品として遺された新しい感覚による巣ごもりの鶴を、絵馬に仕立てます。自然の法則性に従って創作された合理的な折り線は世界に共通普遍のものですから、それらの作品を受け継いで行きたいと思えます。(講師・記)



日	時	2006年11月26日	1回	日曜日	13:30~16:00
受講料(税込)		会員 3,150円		一般	3,670円(入会不要)
教材費(税込)		1,890円			
各自用意		タオル、筆記用具、作品を入れる箱			
会場	所	新宿住友ビル4階 朝日カルチャーセンター			

●講師の病気や、受講者が一定に達しない場合などには、やむを得ず講座を延期または中止することがあります。
●お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日新聞の文化活動 朝日カルチャーセンター
〒163-0204 新宿住友ビル内 私書箱22号
東京都新宿区西新宿2-6-1 Tel 03-3344-1947(直)
<http://www.acc-web.co.jp>